



# 谷原小だより12月号

平成 26 年 12 月 2 日

練馬区立谷原小学校

校長 鈴木 英明

## 【学芸会を終えて】

学年ごとに発表を振り返ってみます。

**1年生**：色とりどりの衣装を身にまとい可愛らしいダンスをしたり、大きな声で台詞を話したりと、これから更なる活躍を期待させる演技でした。

**2年生**：大きな歌声によって、舞台の端まで届きそうな大きな動きにわんぱくさが際立っていました。元気いっぱいの演技が素晴らしかったです。

**3年生**：ゆっくりと観客におおる声で台詞を話し、動きをグループで創り、息を合わせて行っていたことにユーモラスさと格好よさを感じました。お地蔵さんの静止も素晴らしかったです。

**4年生**：大きな声、お金をとばした小道具を使った動作、そして、ギャラリーまでも使うという工夫をこらし、明るくコミカルな演技に力強さを感じました。

**5年生**：会場に語りかけてくる台詞や動作、主人公を助けるドラマチックな場面で響き渡った歌声に会場もまき込まれました。まさに高学年の貫禄でした。

**6年生**：友達と助け合うことをテーマに舞台いっぱい動き、感情を込めて話す台詞、そして照明、音響等も自分たちでこなしした6年生の迫力ある演技に個々の表現の豊かさと団結力を感じました。

このように子供たちは学芸会を通して、表現する喜び、仲間を認め合うこと、協力して発表を創り上げる達成感を得ることができました。たくさんの保護者の皆様や地域の方々から温かく盛大な拍手をいただき、ありがとうございました。また、保護者の皆様においては、衣装作り等のご協力ありがとうございました。



6年生「夢から醒めた夢」より

## 【この一年の成長を受け止めながら】

今年も残すところあと一ヵ月となりました。大人も子供もこの一年間を振り返り、それぞれの成長を確かめる時期です。

成長の過程においては、何度も失敗をしたり、後もどりをしたりします。成長の歩みは、人によって違いがあるのです。しかし、成長しないということはなく、どの子も失敗と成功を繰り返しながら少しずつ着実に成長しています。

先日の研究発表会で有森裕子さんの講演を聞く機会がありました。「夢をあきらめなかったのではなく、周りの大人が夢をあきらめさせなかった」と話されていたことが、強く、印象に残っています。私たち大人は、それぞれの子供の成長を受けとめ、そのことを子供たちに伝えていきたいものです。

## 【そして、有意義な冬休みに】

冬休みは期間としては短いですが、年末・年始があり、様々なことを体験できます。

- ◆ 年末・年始の家の仕事を手伝う体験ができる。
- ◆ 様々な行事に参加し、日本の伝統・文化、習わし等に触れることができる。
- ◆ たくさんの人と出会い、礼儀・挨拶・言葉遣い等、人との関わる体験ができる。
- ◆ 目標を決め、これからがんばることをはっきりさせることができる。

一例をあげましたが、家族で話し合い、意味のある冬休みとなるよう願っています。

# 教室だより（各学年・専科より）

## 1年生 スクラム組んだ学芸会

「おたまじゃくしの101ちゃん」が終わりました。1年生103人が1か月の練習の成果として演じました。ひらがなを覚えたばかりの子供達ゆえ、自分の台詞や台本を覚えるのに精一杯で大きな声を出すまでにさらに多くの時間がかかりました。ですから、初めて全員が台詞を覚えて大きな声で通し練習ができた時には、担任3人胸が熱く鳥肌が立ったほどでした。

今回の取り組みの過程で感心したことは、どの子ども、その役になりきるのに本当に一生懸命だったこと、そして、他の役をうらやむことなく自分の役に誇りをもってやっていたことです。「1年生でもここまでできる、頑張れるんだ」という実感がもてたことを、今後に大いに活かしていきたいと思えます。

## 4年生

「お笑い」をテーマとした劇を発表しますと聞いた子供たちは、笑顔でウキウキと楽しそうな表情を浮かべていました。しかし、実際は緊張感漂う練習。声の大きさがだったり登場人物の気持ちを考えたりなど、大変厳しい練習が続きました。子供たちの表情は真剣。段々と成長していく姿を見ながら、ついに本番を迎えました。

今まで見たことがない4年生の姿ではなかったでしょうか。声を大きくはっきりとだし、登場人物の動きを想像しながら演じることができました。演じた後の子供たちの姿は、笑顔であふれ、達成感に満ちあふれていました。とても頑張って努力を重ねたと4学年担任も感じています。学芸会での経験を生かし、高学年に向けて一歩一歩成長できるよう指導していきたいと思えます。

## 2年生

学芸会では日頃の元気いっぱい腕白な姿を等身に伸び伸びと演じた2年生。練習から「みんなで作る劇」を楽しみました。セリフや歌、踊りを覚えて舞台の上での演技を頑張ったのはもちろんですが、2年生の頑張りはそれだけではありません。友だちの出演場面で木や川になったのも、大きな岩や踏み台などを出し入れしたのも自分たちです。こうした裏方の仕事も分担することで、劇というのはたくさんの人の力で作り上げていくものなのだという事を2年生なりに感じてくれたようです。

お互いに支え合い、みんなでひとつのことを成功させるという素敵なことを見事にやり遂げた子どもたちに、担任一同大きな拍手を送りました。

## 5年生

♪心をこめて言おうよ ありがとう  
そっとささやいてみよう ありがとう  
ときには言葉にならない ありがとう  
心の中で忘れずに言おう ありがとう♪

一人一人が自分自身の壁を乗り越えて、精一杯、力を出し切りました。台詞にあった表情と体の動きをすることができるようになった子、大道具の位置を真剣に覚えた子、舞台に合った色を照らした照明係、例え一言でもその役柄になりきって表現をした子、そして、厳しい練習にもめげずに学芸会を大成功に飾った93名の5年生。数え切れないほどの成長をすることができました。「みんなの心を一つにして、お客さんに喜んでもらう学芸会にしよう！」子供たちが決めたためです。きっと、その通りの学芸会になったのではないのでしょうか。

心を込めて93名の5年生に贈ります。「ありがとう！」そして、保護者の皆様、いつも温かく見守ってください感謝申し上げます。

## 3年生

「大きな声で台詞を言おう」というめあてで始めた学芸会の練習。練習が始まると、声の大きさを直されることはほとんどありませんでした。それどころか、自分たちで動きを工夫したり、場面の状況を考え台詞を新しく加えたりと、意欲的に活動していました。それに伴い、めあてもレベルアップ。「台詞を言わないときの演技を考えよう。」ということで、日々の練習を繰り返しました。

コール隊でひな壇にいるときも、演技です。つつい、舞台を見たくなくなってしまうけれど、じっと我慢。姿勢を良くして待つことができました。

今回の学芸会では、練習を積み重ねることだけでなく、自分たちで考えること、工夫することでもどんどん上手になっていくことを学んだと思えます。そして、全員が力を発揮して、一つの劇ができあがることの素晴らしさも味わえたことと思えます。

3年生での生活は、あと4か月です。学芸会で学んだことを活かし、判断して行動する、協力する3年生を目指していきたいと思えます。

## 6年生

「谷原小学校の歴史に残る学芸会にしたい！」そんな思いを胸に、6年生88人が心をひとつにして挑んだ学芸会。はじめは、役を演じることに緊張や恥ずかしさを感じて、大きな声が出なかったり、動きがぎこちなくなったりすることもありました。しかし、だんだんと「もっとこうしよう！」「こんな動きはどうかかな？」という子ども達の声が聞こえるようになりました。ただやるのではなく、自分達で作りに上げていく、その気持ちが劇をどんどん高めていきました。

本番では、今までの練習を生かし全員が一生懸命に演じることができました。協力することの大切さ、命の尊さ…そういったことが、みなさんにもきっと伝わったと思えます。学芸会でしか味わえないこの貴重な体験と成長を、今後の残り少ない小学校生活に活かせるよう、指導していきます。

## 保健室から（かけがえのない子供たちの表情…）

押方 富子

赤ちゃんは百面相と言われ、大人はそのかわいらしさに自然と微笑んでしまいます。それと同じように、谷原小の子供たちも毎日様々な表情を見せてくれます。保健室に来た理由を話すという行為だけでも、友達に代わって得意気に話す顔、「顔を見なかったから誰だか分からない」とけがをさせた友達をかばう顔、涙をこらえやっとの思いで話す顔、「大丈夫全然いたくない」と強がる顔、周囲のことは気にせず涙をぼろぼろ流し大声で泣く顔と多様です。屈託のない自然な子供たちの表情は、たとえ泣き顔であっても「可愛い」と思ってしまいます。また、大きな行事の練習の際に見せる一人一人の『集中した真剣な目』は、とても素敵です。このかけがえのない子供たちの表情を、日々見ることができると心から感謝しています。そして微力ながら大人を惹き付ける子供たちの素敵な顔を保健室から支えていきたいと考えています。

## 12月、1月はじめの行事予定

1日(月) 振替休業日	15日(月) クラブ活動
2日(火) 学芸会片付け クリーン運動	1年お手伝い大作戦
3日(水) 美化日 特別時程 午前授業(教育会研究日)	18日(木) 3年社会科見学 6年租税教室
4日(木) 午前授業 安全指導 個人面談①	19日(金) なわとび旬間終 6校時なし 4年伝統工芸教室
5日(金) 午前授業 健康の日 読書旬間終 個人面談②	22日(月) クラブ活動
8日(月) 委員会 なわとび旬間始	24日(水) 給食終
9日(火) 午前授業 個人面談③	25日(木) 2学期前期終了 4校時大掃除
10日(水) 午前授業 個人面談④ 5年美しい日本語指導	26日(金) 冬季休業日始
11日(木) 午前授業 個人面談⑤ 6年戦争体験を聞く	— 1月 —
12日(金) 避難訓練	7日(水) 冬季休業日終
13日(土) 学校公開日⑥ 3時間授業 道徳授業地区公開講座 2校時授業 3校時講演会	8日(木) 2学期後期始 給食始 健康の日 5年6年席書会 計測2年
	9日(金) 安全指導 計測1年 3年4年席書会 6校時なし
	10日(土) 学校公開日⑦ 計測3年 美化日

※ 個人面談は学級により、日程や時間が異なります。各学級のご案内をご確認ください。

## 研究推進委員会 12月

石川 哲也

去る10月29日(水)、体育の授業研究で先進的な取り組みをしている西東京市立谷戸第二小学校の研究発表会を、全教員で参観しました。色々な体づくり運動の場を設定し、児童に意欲的に取り組ませながら、体の動かし方に気付かせていく授業の流れは、本校の研究に通じるものがあり、とても参考になりました。

また、11月5日(水)には中学年分科会の研究授業が行われ、4年2組の二宮教諭が「小型ハードル走」の授業を行いました。先だって行われた実技研修を生かした、小型ハードルをリズムよく跳び越す方法に気付かせるという内容で、児童が積極的に運動し、跳び方やハードルの並べ方などを考えていました。児童が進んで取り組む体育の授業づくりに向けて、手応えを感じることができました。

## なわとび旬間

体育部

今年も8日(月)から19日(金)の2週間、なわとび旬間を実施します。寒い季節になってきましたが、外へ出て友達と一緒に体を動かし、体力の向上を図っていきます。

それぞれに目標を立て、休み時間や授業中など、積極的になわとびに取り組ませていきたいと思います。是非ご家庭でも一緒に取り組んでみてください。

また、跳び縄の長さや太さ、材質等が本人に適しているかご確認ください。さらに跳び縄が持ち手からはずれることがあります。はずれても自分で元に戻せるようご家庭でも教えてあげてください。

### <なわとびのポイント>

- 跳び縄の長さは、片足で跳び縄を踏んで拳が胸の位置がちょうどよい長さ。
- 足はつま先だけを使ってかかとをつけないで跳ぶ。
- 背筋はぴんと伸ばし遠くを見て跳ぶ。
- 手首を使って親指で円を描くように回す。
- 跳んでいる場所から動かないように同じ所で跳ぶ。
- 実現可能な個人の目標を立て、達成できたら少しずつ目標を高くしていく。

## なかよし班での「全校遠足」

特活部

10月31日に、全校遠足が行われました。あいにくの曇り空でしたが、子供達の元気に、空の雲が圧倒されたのか、午後からはお日様が顔を出し、秋の風が気持ちの良い、光が丘公園で過ごすことができました。公園までの道は、ペアで手をつなぎ歩いて行きました。

午前中のオリエンテーリングでは、「班全員でなわとびを跳ぶ」「アンパンマンのキャラクターの名前を言う」等、様々な問題が出されました。下学年の子が悩んでいると、そっと答えを教えたり、下学年のスピードに合わせてりと上級生の優しい一面があらこちらで見られました。

遠足の顔合わせとして行われた、なかよし給食では、話が弾まなかった班も、全校遠足では、お互いに名前を覚えて話をし、打ち解けている姿も見られました。

異学年での交流は、同級生と過ごすよりも気を遣います。しかし、そのよう体験から、相手に思いをはせることや、優しくされた嬉しさなどを体感できます。学校だけでなく、地域でも、異学年の交流が広がっていくといいですね。

## 秋の読書旬間

学校図書支援員(司書) 福田 照美

谷原小学校図書室の司書として、何ができるだろうと暗中模索の一年が過ぎ、二年目に入りました。

今年度の読書旬間の活動は、春に引き続き、秋も『図書室からのおすすめ本』を作りました。低・中・高学年別に絵本、読み物、科学、その他のジャンルに分けて、各10冊を紹介したものです。作成には、開放図書指導員さんにも協力してもらいました。

学芸会の練習の合間縫って子供たちは図書室に来ています。「何かおすすめの本はないですか。」と、尋ねられると、「待っていました。」とばかりに私も、興味をもってもらえそうな本を取り出して紹介しています。

本の世界は、想像です。各々の感性で、どんな世界へも行くことができます。

子供たちが豊かな心をはぐくみ、夢の世界へと導かれるよう、図書室をさらにパワーアップしたいと思います。